学則別表　東京保育専門学校 教育課程及び授業時数・単位数(2024年度在学生より適用)

教職員免許法施行規則（教職課程）　　による区分			保育士養成課程による系列					必修・選択	科目名	授業形態	授業時間	単位数
科目区分	必置単位数	各科目に含めることが必要な事項	系列	教科目	告示別表第1(△)・第2(▲)の別	授業形態	必置単位数					
教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目（外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）	2	—	教養科目	外国語	—	演習	2以上	必修	外国語コミュニケーション	演習	30	2
教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目（体育）	2	—		体育	—	講義	1	必修	体育（講義）	講義	15	1
						実技	1	必修	体育（実技）	実技	30	1
教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目（情報機器の操作）	2	—		外国語、体育以外の科目	—	不問	6以上	必修	情報機器の操作	演習	30	2
教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目（日本国憲法）	2	—						必修	日本国憲法	講義	30	2
—	—	—						必修	宗教学	講義	30	2
								必修	生命科学	講義	30	2
								必修	教養特別講座	講義	30	2
領域及び保育内容の指導法に関する科目	(12以上)	領域に関する専門的事項	保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法	△	演習	4	必修	幼児と環境	演習	15	1
								必修	幼児と言葉	演習	15	1
								必修	幼児と人間関係	演習	15	1
								必修	幼児と健康	演習	15	1
								必修	幼児と表現	演習	15	1
領域及び保育内容の指導法に関する科目	(12以上)	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	△	演習	1	必修	保育内容総論	演習	15	1
				保育内容演習	△	演習	5	必修	指導法環境	演習	30	2
								必修	指導法言葉	演習	30	2
								必修	指導法人間関係	演習	30	2
								必修	指導法健康	演習	30	2
								必修	指導法表現	演習	30	2
教育の基礎的理解に関する科目	6以上	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育の本質・目的に関する科目	教育原理	△	講義	2	必修	教育原理	講義	30	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む）	学校独自の科目	—	—	—	—	必修	教職概論	講義	30	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携および学校安全への対応を含む)						必修	教育行政学	講義	15	1
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	△	講義	2	必修	保育の心理学	講義	30	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解（1単位以上）	保育の内容・方法に関する科目	障害児保育	△	演習	2	必修	特別な支援を必要とする子どもの教育・保育	演習	30	2
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）		保育の計画と評価	△	講義	2	必修	保育カリキュラム論	講義	30	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	4以上	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	学校独自の科目	—	—	—	—	必修	教育・保育の方法と技術	講義	15	1
		幼児理解の理論及び方法						必修	幼児理解の理論と方法	演習	30	2
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	保育の対象の理解に関する科目	—	▲	—	(15以上)	必修	教育相談・臨床心理学	演習	30	2
大学が独自に設定する科目	(2以上)	—	保育の内容・方法に関する科目	—	▲	—	(15以上)	必修	音楽（声楽）	演習	30	2
								必修	音楽（器楽Ⅰ）	演習	60	4
								必修	音楽（器楽Ⅱ）	演習	30	2
								必修	音楽（器楽Ⅲ）	演習	30	2
								必修	音楽（音楽表現）	演習	30	2
								必修	図画工作(造形表現)	演習	30	2
								必修	体育Ⅱ(身体表現)	演習	15	1
—	—	—	学校独自の科目	—	—	—	—	選択必修	図画工作Ⅱ(造形表現)　◎(※)	演習	30	2
								選択必修	保育教材研究　◎(※)	演習	30	2
								選択必修	在宅保育　◎(※)	講義	30	2
			保育の本質・目的に関する科目	保育原理	△	講義	2	必修	保育原理	講義	30	2
				子ども家庭福祉	△	講義	2	必修	子ども家庭福祉	講義	30	2
				社会福祉	△	講義	2	必修	社会福祉	講義	30	2
				子ども家庭支援論	△	講義	2	必修	子ども家庭支援論	講義	30	2
				社会的養護Ⅰ	△	講義	2	必修	社会的養護Ⅰ	講義	30	2
				保育者論	△	講義	2	必修	保育者論	講義	30	2
			保育の対象の理解に関する科目	子ども家庭支援の心理	△	講義	2	必修	子ども家庭支援の心理学	講義	30	2
				子どもの理解と援助	△	演習	1	必修	子どもの理解と援助	演習	15	1
				子どもの保健	△	講義	2	必修	子どもの保健	講義	30	2
				子どもの食と栄養	△	演習	2	必修	子どもの食と栄養	演習	30	2
			保育の内容・方法に関する科目	乳児保育Ⅰ	△	講義	2	必修	乳児保育Ⅰ	講義	30	2
				乳児保育Ⅱ	△	演習	1	必修	乳児保育Ⅱ	演習	15	1
				子どもの健康と安全	△	演習	1	必修	子どもの健康と安全	演習	15	1
				社会的養護Ⅱ	△	演習	1	必修	社会的養護Ⅱ	演習	15	1
				子育て支援	△	演習	1	必修	子育て支援	演習	15	1
教育実践に関する科目	(7以上)	教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことができる。)(5単位)	学校独自の科目	—	—	—	—	必修	教育実習	実習	225	5
—	—	—	保育実習	保育実習Ⅰ	△	実習	4	必修	保育実習Ⅰ	実習	160	4
				保育実習指導Ⅰ	△	演習	2	必修	保育実習指導Ⅰ	演習	30	2
				保育実習Ⅱ	▲	実習	2	必修	保育実習Ⅱ	実習	80	2
				保育実習指導Ⅱ	▲	演習	1	必修	保育実習指導Ⅱ	演習	15	1
教育実践に関する科目	(7以上)	教職実践演習（2単位）	総合演習	保育実践演習	△	演習	2	必修	保育・教職実践演習	演習	30	2
—			保育士資格取得に必要な最低設置単位数　79単位					必修科目総授業時数・単位数（1部・2部共通）			1845	102
幼稚園教諭二種免許状取得に必要な最低必履修単位数　39単位			保育士資格取得に必要な最低必履修単位数　68単位					選択必修科目総授業時数・単位数（1部・2部共通）			90	6
※必置単位数は、区分・系列または教科目ごとに定められた必置単位数。（　）が付してあるものは課程表の作成上、同じ区分・系列または教科目だが2行以上にが分かれているもの。								卒業に必要な総授業時数・単位数　（1部・2部共通）			1875	104

備考	
	科目名の右側に※印を付した科目は、本校独自の科目である。選択必修科目は◎印の科目から各１科目選択する。
	ただし、卒業時に「認定ベビーシッター資格」取得を希望する者は、「在宅保育」の選択履修が必要。
	授業時数 一部の１年間の授業時数は、800単位時間以上、単位数は30単位以上を開設する。 二部の１年間の授業時数は、450単位時間以上、単位数は17単位以上を開設する。
	履修科目の上限 一部の１年間に履修する授業科目の上限は、990単位時間とする。 二部の１年間に履修する授業科目の上限は、660単位時間とする。